



山形大学地域教育文化学部 准教授  
滝澤 匡氏 (平成11年生物生産学科卒・平成13年大学院修了)



鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」学芸員  
上山 剛司氏 (平成19年大学院修了)

### 3. 記念祝賀会 会場：鶴の間(2階)【進行：事務長】

16:10～ 開会(進行)

- ・学部長挨拶 (山形大学農学部長／林田 光祐)
- ・来賓挨拶 ①岩手大学大学院連合農学研究科長／比屋根 哲 様  
②農学部後援会長／菅原 眞一 様  
(懇親)



・乾杯 安田 弘法鶴岡キャンパス担当理事



・アトラクション(山形大学花笠サークル 四面楚歌)

・万歳三唱 (佐藤 晨一 鶴窓会会長)  
閉会(17:45)

### 4. 記念誌発行について

サイズ：A4版  
ページ数：361ページ  
部数：500部  
発行日：平成29年10月11日

#### 〈記念誌内容〉

- I 山形大学農学部70年の歴史と変遷
- II 寄稿
- III 写真でつづる山形大学農学部  
-創立50年から70年の歩み-
- IV 資料
- V 各種組織等
- VI 施設等



## 記念式典・記念講演・記念祝賀会

日時：平成29年10月14日(土) 場所：東京第一ホテル鶴岡

### 1. 記念式典 会場：鳳凰の間(1階)【進行：事務長】

13:30～ 開式(進行)

- ・式辞(山形大学農学部長／林田 光祐)
- ・挨拶(山形大学長／小山 清人)
- ・来賓祝辞

①文部科学省高等教育局専門教育課長  
(代理:文部科学省高等教育局専門教育課  
課長補佐／辻 直人 様)



小山 清人山形大学長



②山形県知事  
(代理:山形県農林水産部技術戦略監／須藤 佐藏 様  
(山形大学農学部 昭和58年園芸学科卒))



③鶴岡市長  
(代理:鶴岡市副市長／山本 益生 様  
(山形大学農学部 昭和49農業工学科卒))

・祝電披露(進行) ・記念品紹介(進行) 閉式(進行)

### 2. 記念講演 会場：鳳凰の間(1階)【進行：式典部会委員／堀口健一教授】

14:15～ 講演内容 卒業生によるリレー講演「当時の農学部をふりかえって」

【講演者】



元山形大学農学部教授  
金内 英司氏 (昭和25年林科卒)



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
遺伝資源センター主席研究員  
奥泉 久人氏 (昭和61年林学科卒)



# 着任のご挨拶



森林科学コース  
准教授 吉村 謙一

2017年4月に山形大学農学部森林科学コースの「森づくり論分野」を担当させていただくことになりました。吉村謙一と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は兵庫県西宮市の甲子園という、良い意味でも悪い意味でも関西らしい土地で育ちました。学生時代やその後のポストドク時代は近畿圏内を転々としており、近畿圏外での生活は初めてになります。学生時代に「青春18きっぷ」を使って旅をしていたので鶴岡には何度か訪れたことがありますが、「夏は天国、冬は地獄」という印象でした。雪は多くなく、気温も低くはなかったのですが、北海道よりも冬の夜を耐えるのに苦労した記憶があります。恐怖心もありますが、鶴

岡の冬を楽しんで迎えたいと思いますので、冬の楽しみ方を是非とも教えていただければと思います。

鶴岡の気候は人間にとっては厳しいかもという話をさせていただきましたが、樹木にとってはどうだろうと観察してみると、庄内の樹木は関西の樹木よりも生長がよさそうだと感じられます。冬の寒さや風の強さは樹木の生長を低下させます。一方で関西の森林は風化花崗岩とよばれる貧栄養な母岩由来の土壌が多いこと、人間による森林利用の歴史が長いことなどが原因となり樹木生長が低下します。このように気象環境や地質、管理履歴など様々な要因が樹木の生長に関与します。私は山形の森林について知識が浅いので、これからできるだけ多くの森を散策したいと考えています。その上で、樹木がどのように生長しているのか、どのような管理をしていけばよいのかについて地域の課題として考えていきたいと思います。

「農学部だより第47号」より転写



森林科学コース  
助教 斎藤 昌幸

世界最大の首都圏であり、著しく都市化が進行した東京の中心部にも、いろいろな生きものが暮らしていることをみなさんはご存知でしょうか(ザ!鉄腕!DASH!!をご覧ください)とご存知だと思えます。私は人間活動と野生生物の関係に興味を持っており、とくに都市化が野生哺乳類にどのような影響を与えるのか調べてきました。都市化が進行すると哺乳類の構成はどのように変化するか、都市部にも生息できる哺乳類には共通する特徴があるのか、森林の分断化はノウサギの分布にどのような影響を与えるのか、などを明らかにしてきました。最

近では、東京都心部に生息するタヌキの生態を明らかにするための研究を進めています。このような研究をおこなってきた私ですが、縁あって鶴岡にやってきました。配属先は森林科学コース、仰せつかった研究分野は「里山創生論」です。なるほど、「里山」はこれまで対象にしてきた「都市」とはだいぶ環境が異なりますが、「人間活動」の影響が濃い生態系が成立しているという点では共通点もありそうです。山形県のみならず日本のさまざまな地域の里山では、管理放棄などによる問題が生じており、今後どのように自然と関わっていくべきか考えることが来ています。私は、里山を中心としたさまざまな景観で人間活動と野生生物の関係を明らかにし、人間と自然のより良い付き合い方を考えるヒントを探していきたいと思っています。

東北地方の良いところをたくさん見つけていきたいと思っています。よろしくお願います。奇跡的に私の研究内容や経歴などに興味を持たれた方がおられましたら、左記ウェブサイトをご覧ください。ただし、たいしたことは書いてありませんのであしからず。  
<http://lepumus.net/>  
「農学部だより第47号」より転写

エル・サングループ【冠婚葬祭】

チャペルウェディング

グランドエル・サン

エル・サン

検索



水士環境科学コース  
プロジェクト教員  
助教 西山 正晃

平成29年度4月より、水士環境科学コースのプロジェクト教員として着任しました「西山正晃(にしやままさてる)」と申します。

出身は、大分県竹田市という「平成の名水100選」にも選ばれている水の豊かな町です。大分工業高等専門学校専攻科を卒業後、宮崎大学大学院工学研究科土木環境工学専攻を経て、2017年3月に宮崎大学大学院農学工学総合研究科資源環境科学専攻(博士後期課程)を修了し、博士(工学)の学位を取得しました。

私はこれまで、「水環境における薬剤耐性菌の実態調査と耐性遺伝子の伝播に関する研究」を行ってきました。薬剤耐性菌は、その名の通り抗生物質に耐性を獲得した細菌のことです。従来まで使用した抗生物質が

効かなくなることから、治療が困難となり、薬剤耐性菌による感染症は世界的な問題となっています。私は、水環境中から効率的に耐性菌をスクリーニングする手法の開発や、分子生物学的手法を用いて、日本の水環境における耐性菌の分布特性や遺伝学的特徴などを明らかにしました。今後は、これらの経験を生かして、水環境を保全する研究を進めたいと思います。

現在は、科学技術振興機構(JST)と国際協力機構(JICA)による地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)「トンレサップ湖における環境保全基盤の構築」に参画し、カンボジア王国における水起因の健康被害に関するリスク評価とシナリオ解析の調査に従事しています。プロジェクト専任教員のため、講義は担当せず、コース内の研究活動を通じて学生とコミュニケーションを取れたらと思います。生まれてから九州以外の土地で生活したことがないため、新しい土地での研究活動には不安なことが多いですが、今後ともよろしくお願います。

「農学部だより第47号」より転写



水士環境科学コース  
プロジェクト教員  
助教 ファム ユットズン (Pham Viet Dung)

初めまして、ベトナムから参りましたファム ユットズンと申します。私はベトナム・ハノイ国家大学・科学大学の学部を卒業後、2010年から5年間日本で留学しました。岡山大学大学院環境生命科学研究科での修士課程、北海道大学大学院農学研究科での博士課程を修了しました。その後、ベトナムに帰り、2年間ハノイ国家大学・日越大学で働きました。2017年5月より、山形大学農学部を設置された寄附講座「アジアの水・食・健康リスク講座」の助教として担当いたします。

本講座はアジアの持続可能な産業社会の発展の基礎となる「水」と「食料」の安全を揺るがす諸問題を理解し、それらの問題によって生じる健康リスクを正しく評価できる人材の育成を

目的としています。その目的を通じ、山形大学農学部における国際的な教育活動を推進するとともに、我が大学の教員と学生たちが世界の大学を相手に、知識や研究成果を交流するチャンスとなります。尚、今の学生さんにとって、1つの分野を分るだけでなく、横断的な分野と国際的なコミュニケーション能力を持つことも必要だと思います。それは就職活動を行う上でも学生の重要な利点となります。そのため、本講座を成功するために山形大学の学生にそれらの考え方を伝えなければならぬと思います。

農家が沢山ある鶴岡に初めて来た時、育った故郷の記憶を思い出しました。これから毎日頑張っていきますから、どうぞよろしくお願います。

「農学部だより第47号」より転写



地域密着ヤマザワグループ  
三遊亭円楽師匠のCMでおなじみの **株式会社サンコー食品** **サンコーで健康!**

山形大学農学部卒在職者 代表取締役社長 遠藤 善也 (昭和39年農学科卒) E-mail: Zenya\_Endo@yamazawa-co.jp

大石 信治 (昭和54年園芸学科卒)・設楽 智子 (昭和57年農芸化学科卒)・堀江 敬範 (平成9年生物生産学科卒・11年大学院農学研究科修了)

〒990-0821 山形県山形市北町4-15-5 TEL 023-684-3411 FAX 023-684-0758

- ◆惣菜工場 炊飯ラインHACCP認定 製造品目 / おにぎり・弁当・寿司・惣菜
- ◆デイリー工場 製造品目 / 牛乳・豆腐・麺・納豆・苜蓿